

先人の築いた歴史と文化を学び、次代につなぎたい と考えるみなさん

●CNCP はそんなあなたが参加し楽しく活動する場です●

今月のひとこと

土木・シビルエンジニアリングは市民工学であり、その歴史はローマ時代にさかのぼる・・・、一方我が国で土木工学として整理されたのは、明治に入ってからですから、高々150年。しかも土木という訳語にしたので、未だに土木の説明が難しいと先月号で書きました。しかし明治以降の土木の歴史とその文化は、我が国が列強に伍して今日の繁栄を築いてきた歴史と重なり、かなり濃密であり、それを学ぶことは大変重要なことと考えています。でも大学教育と研究の場では、土木史の研究はかなり軽く扱われ、学会で土木史研究委員会が出来たのもかなり遅れていた、と聞いた覚えがあります。土木に限らず歴史と文化に興味を持つと様々な発見があります。公にされた土木遺産に限らず、実は自分の身近にたくさん転がっている、その発掘は新鮮です。CNCPでは明治150年企画として、そんな小さな歴史の発掘も目指しています。



CNCP シンクタンクチームでは、明治150年企画ワーキングを募集しています。明治以降の身の回りの土木・シビルを見つけ出すこと、

そしてNPOのような民間主体で取り組んだ地域のインフラ関連プロジェクトを見つけたら発掘したいと思います。

難しい作業をお願いすることはありませんので、声をかけてください。

(代表理事 山本卓朗)

Vol.39 コンテンツ

巻頭言	人生100年時代のCNCPの役割	野村 吉春	2
コラム	ソコニリアリティはあるのか？	小林 大	3
トピックス	インフラメンテナンス国民会議 自治体支援フォーラム	有岡 正樹	4
サポーターからの投稿	建築と土木の距離を埋める	成岡 茂	6
賛助会員 CSR 紹介	熊谷組グループの社会貢献・市民交流活動の事例紹介	星 国人	7
会員紹介	NPO 法人 関西ミニウイングス		9
部門活動紹介	「CNCP 通信」掲載記事のアーカイブ化	サービス提供部門	10
事務局通信			11